

六ヶ所村立郷土館 企画展

きょうど ひら ひとびと
郷土を拓いた人々

とまりみなと ひと こうさてん
～泊湊は、人とモノの交差点～

あいさつ

ろっかしよむら とまり いせき やく せん ひやくねんまえ じょうもんじ だい ひとびと
六ヶ所村の泊(1)遺跡からは、約5千7百年前の縄文時代から人々が
く
暮らしていたことがわかっています。また、江戸時代の菅江真澄も泊の
いそりょう ようす りょこうき しる めいじじだい はい とまりぎょぎょうくみあい
磯漁の様子を旅行記に記しています。明治時代に入り、泊漁業組合は、
けんない さいしょ せつりつ ぎょぎょうくみあい しょだいくみあいちょうたねいちゆう
県内で最初に設立された7つの漁業組合の1つで、初代組合長種市忠
しちし せっきょくてき ぎょぎょうしんこう はか のち けんないゆうすう ぎょこう はってん
七氏が、積極的な漁業振興を図り、後に県内有数の漁港として発展し
てきました。今回の企画展では、広大な海を開拓してきた人々の歴史
ふ かえ
を振り返ります。

とまりみなと ひとびと おも ろっかしよ だいち せいかつ
泊湊の人々がどのような思いで、ここ六ヶ所の大地で生活してい
たのかを、「知って、体感して」いただき、六ヶ所村の魅力の「発掘・
はっけん はっしん ねが
発見・発信」につながることを願っております。

さいご ろっかしよむらしょうがくせいようふくどくほん さくせいじ とまりぎょぎょうきょうどうくみあい
最後に、六ヶ所村小学生用副読本の作成時に、泊漁業協同組合
もとふくさんじ たねいちよしみし きょうりよく あらた
元副参事の種市四志美氏のご協力をいただいております。改めて、
ば か れい もう あ
この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



ろっかしよそんりつきょうどかんしていかんりしゃ
六ヶ所村立郷土館指定管理者



いっばんざいだんほうじんろっかしよむらぶんかしんこうこうしゃ
一般財団法人六ヶ所村文化振興公社

ろっかしよそんりつきょうどかんちょう すず き ひろし
六ヶ所村立郷土館長 鈴木 浩

うえ、とまり まるきがね した、とまりぎょこうふきん せん
上: 泊の丸木舟 下: 泊漁港付近でのカッコ船によるアワビ漁